



ふじもり けんじ  
**藤森 研司 教授**

～ 医療管理学分野 ～

講義題目

**医療政策の明日**

**【略 歴】**

1984年 3月 北海道大学医学部医学科卒業	2007年 5月 北海道大学病院特任准教授
1987年 9月 米国国立衛生研究所客員研究員 (～1990年8月修了)	2010年 4月 北海道大学病院准教授
1991年 3月 北海道大学大学院医学研究科 内科系専攻博士課程修了	2013年12月 東北大学大学院医学系研究科教授
1991年 4月 北海道大学医学部附属病院医員	2021年 4月 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学専攻長 (併任～2024年3月)
1993年12月 札幌医科大学助手	2022年 4月 東北大学附属図書館医学分館長 (併任～2025年3月)
1994年 4月 札幌医科大学講師	2025年 3月 退職

**【研究業績等の紹介】**

藤森研司教授は、医療の社会面、経済面、政策面を俯瞰し、世界最高水準の医療を維持しつつ、制度の持続可能性および再構築を視野に、限られた医療資源を有効活用して最大効用を得るための医療政策・医療計画について研究を進めた。2015年度より毎年、医療ビッグデータの代表である National Database の全数を使用し、厚生労働省医政局や内閣府と共同で、日本全国の都道府県レベル、二次医療圏レベル、市区町村レベルの医療提供状況の地域差を明らかにした。また2005年度より分担研究者を務める厚生労働省科学研究費事業では約1,100医療機関のDPCデータを使用し、厚生労働省保険局医療課に協力してDPC/PDPS制度の改善に取り組むとともに、学内の各診療科と共同で多くの臨床疫学研究を進めた。同じく医療ビッグデータである National Database および電子レセプトデータを使用し、複数年度にわたる患者連結を行い、全国規模の骨粗鬆症に関する臨床疫学研究を展開し、骨粗鬆症診療の実態、薬物治療と骨折予防効果の関連等を明らかにした。

教授就任から退職まで、学部教育の授業では社会医学合同講義(医療管理学)、大学院教育では医療管理学および保健福祉行政論を担当し、医療に関する幅広い視野の啓蒙に努めた。2022年度からは東北大学附属図書館医学分館長として、より使いやすい図書館を目指して尽力した。

社会貢献活動としては、厚生労働省保険医療専門審査員「DPC評価分科会委員」、厚生労働省保険医療専門審査員「入院医療等の評価・検討委員会委員」、内閣官房社会保障制度改革推進本部「医

療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会委員」、内閣府経済・財政一体改革推進委員会「評価・分析ワーキング・グループメンバー」、内閣府経済・財政一体改革推進委員会「社会保障ワーキング・グループメンバー」として、我が国の保健医療についての提言を行った。また、宮城県においては、宮城県医療審議委員会、医療顧問、宮城県地域医療構想アドバイザーおよび宮城県循環器病対策推進計画策定懇話会構成員を務め、また仙台市においては仙台市公立病院改革プラン検討委員会委員、仙台市立病院経営評価委員会委員および仙台市の医療提供体制に関する懇話会メンバーを務め、地域の医療の在り方、目指すべき方向性について提言した。